



わ か た け

<https://tsubame.schoolweb.ne.jp/1510064>



よいよい自分を目指して

明けましておめでとうございます。

学校ではいよいよ3学期を迎え、1年間のまとめの学期となりました。3学期は、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言うように、あっという間に過ぎてゆく学期でもあります。しかし、子どもたちには、その中でも毎日充実した生活を送ってほしいと願っています。

さて、充実した生活を送るためには、目標を立てて過ごすことが大切です。「こんなことに頑張ってみよう」と思うこと、「こうなりたいなあ」と思うことを意識することで学校生活がより充実してきます。意識するだけでなく、日々の努力をコツコツと続けていくことで目標の達成につながっていきます。始業式で子どもたちに、以下のことを話しました。

- よくできているところはさらに伸ばし、十分にはできていないところは改善していくことで、よりよい自分をつくってほしい。
- よりよい自分をイメージして、自分のよいところを伸ばすために、苦手なところを改善するために何をすればよいのかを具体的に考えてほしい。
- よりよい自分をつくるには、挑戦する気持ちや目標に向かって頑張るんだという決心が鍵となる。
- 頑張っている仲間を応援してほしい。

目標に向かって努力し続けることは簡単なことではありません。続けて頑張っている、すぐうまくいくとは限りません。できなくても、うまくいかなくても、頑張りが続けることが大事です。お子さんが頑張れるように励ましの声掛けをお願いいたします。学校でも、子どもたち一人一人がもつ個性を伸ばし、大きく成長していくことができるよう、教職員一同、全力で努めてまいります。3学期も引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

笑顔がつくる こころの栄養



最近の研究では、笑顔になると脳内で「セロトニン」という物質が分泌されやすくなることが分かってきています。セロトニンは「しあわせホルモン」とも呼ばれ、気持ちを落ち着けたり、前向きな気分をつくったりする働きがあります。つくり笑っても、口角を上げるだけで脳が「笑っている」と判断し、セロトニンの分泌が促されると言われています。また、人は無意識のうちに人の顔に反応するので、近くの人が笑顔だと自分にも伝染して笑顔になるそうです。朝のあいさつでにっこり笑う、友達と目が合ったら微笑む…そんな小さな行動が、心の健康を支える大切な一歩になります。学校でも家庭でも、笑顔が行き交う時間が増えるほど、子どもたちの安心感や意欲を育むことができます。日々の生活の中で、笑顔を意識してみてください。

12月の音楽朝会 ～6年生の発表～



今年度最後の音楽朝会は、6年生の発表でした。合唱「すてきな友達」と合奏「情熱大陸」を披露しました。合唱では、上のパートと下のパートの声が響き合うように歌いました。合奏では、さまざまな楽器を使い、リズムよく演奏しました。下級生からは、自然と手拍子が入り、楽しく聴いていました。

正しく判断できる自分になる～「情報モラル教室」

1月29日(木)に、講師をお招きし、「情報モラル教室(3～6年生)」を実施します。情報モラル教室では、SNSを利用する際の注意点やトラブル、そして犯罪に巻き込まれる危険性などについて学びます。

保護者の皆様も参加できます。興味のある方は、お子さんの学年に関係なく、都合のよい時間帯に体育館へお越しください。

○3・4年生 13:35～14:20 ○5・6年生 14:25～15:10

子どもたちの活躍

【MOA美術館全国児童作品展】

銅賞 1年 ○○ ○○

【図書館を使った調べる学習コンクール】

奨励賞 3年 ○○ ○○

【良寛書道展】

特選 6年 ○○ ○○ 6年 ○○ ○○○

準特選 3年 ○○ ○○ 4年 ○○ ○○ 4年 ○○ ○○

6年 ○○ ○○ 6年 ○○ ○○ 6年 ○○ ○○

【青少年読書感想文全国コンクール】

優秀賞 3年 ○○ ○○

優良賞 5年 ○○ ○○

